

## 「インテリアフェア」過去最大規模で開催



▲「ホシケン120周年記念特別モデル糊付機」

内装材・インテリア商品の総合商社ホシケン（星野貴洋社長）は7月18日、19日の2日間、高崎市問屋町のビエント高崎（ビッグキューブ）で「第44回ホシケンインテリアフェア2025」を開いた。今年、創業120周年の節目の年を迎えたことから「120th ANNIVERSARY FESTIVAL」として例年より規模を拡大して実施した。

インテリア資材、壁紙、カーテン、電動工具メーカーや商社など32社が出展し県内外の内装工事店が招かれた。インテリアフェアは内装工事業者約2000社と取り引きのある同社が定期開催しているもので北関東の同業者では最大規模の催しという。実際に商品と接する機会を提供することや情報交換の場として実施している。

来場者が家族連れで楽しめるように野菜詰め放題、射的、ネイルアートなどのイベントブースを設置。キッチンカーも登場した。

「120周年記念特別モデル糊付機」を限定20台（シリアルナンバー付き）やオリジナル雑貨なども販売した。

群馬県室内装飾事業協同組合（渡邊望理事長）は「長尺シート施工&自動溶接機デモ」と「カーペット施工&ジョイントテクニク講座」を開催。また、「和紙キャンドルシェード作り体験会」も開き、ホシケンが運営する和紙・

また、自動壁紙糊付機などのインテリア内装施工機器メーカーのKLASSインテリア事業部北関東営業所の梶間智行所長代理は「お客様が来場して商品を見てくれる良い機会。当社にとっても北関東で最大のイベントとなり、感謝している」と語った。

ホシケンの山岸秀毅経営企画室室長は「創業120周年という節目の年でもあり、取引先にも協力を仰ぎながら特別な催しとなり盛況に開催できた。来場者が楽しめるように社員が自主的に取り組んでくれたことに感謝している」と総括した。

前橋市城東町5-657-18  
027-226-1845



▲北関東では最大級のインテリアフェア

創業120周年、多くの来場者でにぎわう  
ホシケン

